

## 南山城村 童仙房

ヒアリング対象：清水のばらさん  
南山城村に移住して 18 年目  
ARABON 店主

都会で暮らした人たちが、田舎で暮らすことは、  
田舎を活気づける大きな存在になるのでは。



デッケコルニル加奈子 さん  
左京区在住  
どろんこ 主催



### ○移住のきっかけ？

好きになったひとが住んでいたから。一年京都から電車で通ったけど、二重生活がしんどくなって引っ越しました。

### ○移住して良かったことは？

すべてよかったと思う。ずーっと京都で暮らすと思っていたのに、好きなひとが住んでいたからたまたま移住することになりました。

つれあいがいて、ふたりのこどもに恵まれ、バカなこと言って笑ったり、泣いたりできる友達がいること。美しい風景に囲まれて、おいしい空気とおいしいお水がいただけること。そういう所がいいところです。

### ○童仙房の魅力は？

私は小学校で一学年六組、中学では十一組のマンモス校で育ったので、保育園から中学までひと組のこゆい人間関係で育つこども達がうらやましかったです。特に保育園ではいろんな年齢のこどもが常に一緒に遊んでいて、マイナスなイメージの年功序列がこどもの育ちにとっては大切なことだなあ…と感じました。

田舎は都会より人間関係が濃密です。自由ありません。でもそこから見えてくる暮らしの意味は、都会で暮らしては見えにくい群れることの意味だったり、利他の精神だったり。我がままになりがちな現代とは違った価値観がいまだに息づいています。

すれ違う人はみんな知り合いで、こんにちわって挨拶をする。鍵をかけないで出掛ける。寝る。こんなにゆったりと暮らせる場所はあまりないかもです。



### ○その他

私達が移住した時にも物作りの先輩がすでに移住していらして、いろいろアドバイスして頂いていました。でも、地域との関わりは今よりも希薄だったように感じました。地域とのつながりは長い時間をかけて徐々に築いてきた感じでした。

今は、魅力ある村づくり推進室もあり、移住者に対して手厚いサポートがあっていいなあ…と思う反面、やはり、基本自分たちがどうやって暮らしていくかは、自分達の責任のような気がして、あまり特別扱いしないほうがいいのではとったりもします



